

# 神戸大学海外インターンシップ就業実習報告書

学部・学年: 国際文化科学研究科博士課程前期課程 1 年

## 1. インターンシップ概要

### ●派遣国（都市）

ポーランド（トルン）

### ●派遣先機関

ニコラウス・コペルニクス大学 言語学部 日本学科

ニコラウス・コペルニクス大学 言語学部 東洋文化学科

### ●派遣期間

2019年2月28日（木）～ 2019年4月18日（木）

### ●研修内容

授業の見学・補佐、授業の実施、合宿での授業・ワークショップ実施

## 2. 研修内容

### ●授業の見学・補佐

主に、ニコラウス・コペルニクス大学に勤務している日本人教師 4 人が担当している授業に参加した。授業中は、学生が問題を解くのを手伝ったり、ペアワークに参加したりした。時に、日本人としての意見を求められることもあった。

### ●授業の実施

以下は、授業内でプレゼンテーションを行った授業と内容である。

日付	対象学生	内容
2019年3月13日（水）	日本学科 3年生	日本の就職活動
2019年3月19日（火）	日本学科 修士2年生	日本の就職活動
2019年3月27日（水）	日本学科 3年生	日本のブラックバイト
2019年4月1日（月）	日本学科 修士2年生	日本のブラックバイト

プレゼンテーションは、ポーランド人の学生と同世代の日本人が抱える社会問題をテーマとして選択した。プレゼンテーションを行う際は、教師側が一方向的に説明するのではなく、「ポーランドはどうか？」等、学生に頻繁に意見を聞き、話す機会を設けた。

以下は、個人授業を担当した日と内容である。

日付	対象学生	内容
2019年3月18日（月）	文化学科 1年生	普通体の会話

		「ないてください」
2019年3月22日(金)	文化学科 2年生	「という」「やすい/にくい」
2019年3月27日(水)	日本学科 修士1年生	アカデミック・ライティング
2019年3月28日(木)	日本学科 1年生	「ながら」「たことがある」
2019年4月1日(月)	文化学科 1年生	過去形普通体の会話 名詞修飾
2019年4月3日(水)	日本学科 3年生	ディベート
2019年4月17日(水)	日本学科 修士1年生	アカデミック・ライティング
2019年4月17日(水)	日本学科 3年生	ディスカッション
2019年4月18日(木)	日本学科 1年生	「ば」「たら」「ても」「なら」

個人で授業を担当する際は、あらかじめ教案を作成し、指導教員に確認してもらってから、授業を行った。授業の後は毎回必ず日誌の評価欄に記入してもらい、反省点を次の授業で活かせるように努めた。

#### ●合宿での授業・ワークショップ

派遣期間中に、クラクフで行われた国際合宿に参加した。この合宿は、ポーランド国内の日本学科の学生が、日本語や日本文化の授業やワークショップを受講し、日本文化の理解を深める合宿である。私はこの場で授業とワークショップを持つことができた。授業は1年生を対象に「日本の遊び」、ワークショップは全学年を対象に「日本のメイク」について行った。大学の授業より規模が大きい場で授業を担当することは初めてであったため、貴重な体験であった。

### 3. 所感

日本語教師を目指す者として、今回のインターンシップは非常に実りの大きい経験であった。海外で日本語教育がどのように実施されているのか、自身の目で見ることができ非常に貴重な体験であった。そして、何度も個人で授業を担当し、多くの経験を積むことができた。授業を1人でマネジメントする難しさを身を以て感じた。初めは四苦八苦であったが、先生方の丁寧なご指導があり、また回数を重ねていくうちに、時間配分を臨機応変に変更したり、学生の質問に答えたりすることができるようになった。

教師としての経験もなく未熟な自身を受け入れ、的確なアドバイスをくださった先生方に深く御礼を申し上げたい。

そして、多くの学生が授業外での交流に積極的であり、遊びや旅行に誘ってくれた。その際、他愛もない話だけでなく、日本やポーランドの文化の違いや両国が抱える社会問題について深く話し合うことができた。